

# わがまちの「ちよつといい話」

NO. 60

「道徳のまち笠松」推進会議  
(笠松町教育文化課)

七月、道徳のまち笠松推進会議から「あいさつ絵本」が発行された。

書名は「ありがとう その心！」。昨年発行された「心をつなぐ あいさつ」に続き二冊目の絵本。幼い子がぬり絵をしながら「ありがとうの心」を感じたり、小中高生や大人が「ありがとうの意味」を改めて考えたりできる絵本である。

これまで、あいさつは社会で生活する基本的なこととして昔から大切にされてきた。はつきりとした声で、目を見て、笑顔であいさつしなさいと繰り返し、指導されてきた。しかし、この「あいさつ絵本」では、あいさつに込められている心を感じとったり、



「あいさつ絵本 ②」発行

ありがとう その心!

つてもらうことがあり前だといい気持ちで

あれば、感謝の心は伝わらない。

「ありがとう」以外のあいさつに込められる心についても、絵本最後のページに整理されているので見て欲しい。

心を通い合わせることに目を向けようとしている。

あいさつには、思いやり、ねぎらい、

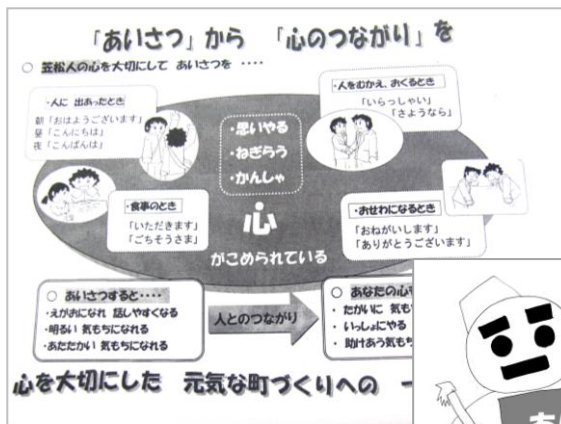
感謝の心が込められている。あいさつにより、その心を感じとったり心をつな

たりして、人のつながりが育まれていく。今回とりあげられた「ありがとう」は、

普通ではありえない(有り難い)ことをやっていただいたという思いが込められ、感謝の心を表している。いくら「あ

りがとう」(ごいいます)と言つても、や

私たちは人とかかわりの中で生活している。あいさつを通し心のつながりが深まれば、温かな人の輪の中で心豊かに暮らせる。そんな町にしたい。まずは、私たち大人が心がけ、町の将来を担う子どもたちにも示していきたい。



←巻末「あいさつに込められる心」のページ

あいさつ絵本 その2 表紙 ↓



予備あります。希望者にお渡しできます。笠松中央公民館へ連絡ください！